

0906 オークション結果

2009/6/16

通番	番号	出品者	品名	産地	説明	数量	落札額	落札者
1	1	麻生 紀章	「高原の花と蝶を撮る」		海野和男のビデオ。海野さんのテクニックがわかります(銀塩写真用ですがデジカメでもテクニックは同じです・定価5千円) 一巻45分	1巻	¥1,000	零石
2	2		ギフチョウ	長野県下条村	1999年飼育羽化(麻生) 飯田の黒いギフと言われる 今は保護地区で採集できない	1♂	¥600	奈良岡
3	3		ギフチョウ	三重県伊賀上野市	2000年飼育羽化(麻生) 今は保護地区になっていて採集できない 左前翅に異常がある	1♂	¥500	伊藤(久)
4	4		リュウキュウムラサキ	サイパン マニャガハ島	1998年麻生採集	1P	¥1,000	木下
5	5		ルリタテハ	ボルネオ サバ州	2008年採集品 青帯が幅広い	1♀	¥1,500	杉山
6	1	西海 正彦	「西海正彦報文別刷集」		(「蝶研フィールド」、「やどりが」、「昆虫と自然」、月刊むし」、「Butterflies」、など合計32件; ただし「ゆずりは」、「蝶と蝶」、「Leptalina」などの「別刷の無い雑誌/会誌」は含まれません)(なお、これらは「身辺整理」の目的で出すので、落札額のうち、会の「手数料」を差し引いた残額は、落札者に当日お返しいたします。なお次回からも毎回出ささせていただく予定です)	1式	¥1,000	麻生
7	2		アタランタアカタテハ (Vanessa atalanta, 英名 red admiral)	フランス・パリ近郊にて採集	(既展翅・軽度のスレあり) 採集者 M.N.	1ex.	¥600	日野
8	3	大島 良美	「?ヒメシジミ属(ブルー) sp.」	中国甘肅省タクラマカン砂漠で採集(「採集記」を付けます)	(手持ちの中国蝶図鑑には掲載されていません。種名は未確定) (既展翅・表面展翅) 採集者 M.N.	2♂	¥1,000	仁平
9	1		中国四川省産オムツキ	中国四川省産	飼育品 裏面はかなりメリハリの利いたものです	1P	¥2,000	齊藤(秀)
10	2		アカボシゴマダラ	中国四川省産	飼育品 夏型2♂ 今日日本で蔓延している元の産地のものです 比較用にどうぞ	2♂	¥700	早坂
11	3		ノミオン	モンゴル産		2♂	¥1,000	白石
12	4	ホエブス	モンゴル・アルタイ産		1P	¥1,000	杉山	
13	1	北川 朝生	シジミ	南大東島、北大東島	(既展翅) 南大東島・ハマヤマト5頭、シルビア5頭 北大東島・ハマヤマト5頭、シルビア5頭	20ex s	¥7,000	麻生
14	2		シジミ		(既展翅) ルリウラナミ飼育5頭 アサヒ型ヒメシジミ5頭 クロマダラソテツ低温期型5頭 群馬アサマ(成虫採集・飼育)5頭	20ex s	¥2,500	齊藤(秀)
15	3		北大東島の蝶	北大東島	(既展翅) シロオビアガハ2♂1♀ タテハモドキ2♂ テングチョウ7頭 アオタテハモドキ1♂1♀ (これのみ飼育)	20ex s	¥2,000	麻生
16	4		バルナシウス		詳細未定	10ex s	¥7,000	仲西
17	1	仁平 勲	デジカメ		日立900万画素、新品未使用	1式	¥8,000	宮崎
18	2		Lexias pardaris	ベトナム南部 Dong Tien	展翅	1P	¥500	大島
19	3		ヤマキマダラヒカゲ	千葉県君津市	(房州亜種) 展翅	1♂	¥1,000	西海
20	4		共生する生き物たち(クロシジミ)		書籍 蛭川薫男	1冊	¥1,000	田中
21	6	G多摩虫	中国の蝶	グループ多摩虫	書籍 渡辺康之(サイン入り)「定価 26,250円」	1冊	不成立	—
22	1	零石 卓	ヘレナモルフォ Morpho helena	(ペルー産)	♂ 美麗品	1	¥2,500	小野
23	2		サルダナパルスアグリ アス A. sardanapalus	(北ブラジル産)	♂ 青絞発達型	1ex	¥2,000	樋田
24	3		シロモルフォモドキ Morphotenaris schoenbergi kenricki	(西イリアン産)		1P	¥2,500	間野
25	1	仲西 周二	リンゴシジミ	札幌市	今春の飼育羽化品で翅面が明るいモモ食い、生展翅可の三角紙標本	3P	¥2,500	零石
26	2		オオルリシジミ	長野県	今春の累代羽化品、生展翅可の三角紙標本	3P	¥5,000	零石
27	1	木下 隆方	ギフ蝶蛹	天竜市 カレ山	母蝶採卵・飼育、	5蛹	¥500	田中
28	2		ギフ蝶蛹	津久井郡 青野原	母蝶採卵・飼育、	5蛹	不成立	—
29	3		ヒョウモンモドキ	山梨・勝楽寺	美しい展翅品	1♂	¥2,200	宮崎
30	4		ミヤマシジミ	日野春(絶滅産地)	展翅品	1P	¥500	日野
31	5		ルーミスシジミ	鴨川市	採集・展翅品	3♂2♀	¥2,000	山田(厚)
32	1	小柴 清之	オオゴマシジミ	日光丸沼(絶滅産地)産	1963年採集、展翅品	1P	¥1,000	藤田
33	2		書籍「ギフチョウとカンアオイ」		藤沢正平著	1冊	¥1,000	樋田
34	1	福嶋 美恵	ウオッカ	サンクトペテルブルグ産	日本では手に入りません	1本	¥1,000	麻生
35	2		白樺のジュース	ポーランド産	純粋白樺の樹液です。そのままでも、お酒に入れて飲んでもいい	1本	¥1,500	朝日
36	1	手代木 求	モルフォチョウ・セット (hercules♀, didius♂, patroclus♂)	ペルー産	♀は少ない。油抜き済みの腹部付き。	3種 3exs	¥4,000	山上
37	2		南米のコムラサキ・セット	ペルー産	美麗	5種 5exs	¥3,000	山田(成)
38	3		シロチョウ・セット	ペルー産	擬態したシロチョウや黒いシロチョウなど	7種 7exs	¥5,500	久保
39	1	中村 英夫	「蝶の紋」		藤岡先生の名著、(河出書房新社1973年・初版)クジャクチョウとキリシマドリが描かれたカバーはなくなっています。紙が若干黄ばんでいますが、状態は比較的良好です。口絵の写真は鮮明で、口絵・本文各1箇所の訂正紙片も残っています。	1冊	¥1,200	宮崎
40	2		オオウラギンヒョウモン	京都産	1977年、野外採集個体、裏面展翅、状態は極めて良好の大型個体。本人採集。1980年代半ばに絶滅したと考えられる産地です。	1♂	¥2,000	西海
41	3		オオルリシジミ(ssp. eso)	阿蘇産野外個体	1981年、熊本県希少野生動物植物の保護に関する条例(平成2年)制定以前の合法的採集品で、♂♀ともに、状態は、良好。本人採集。	1P	¥2,000	杉山

通番	番号	出品者	品名	産地	説明	数量	落札額	落札者	
42	1		メガネアゲハ		赤青緑ペアセット	1式	¥4,000	杉山	
43	2		「羽化」		世田谷昆虫愛好会誌、23、24号 多摩虫会員の木下さん西海さんの報文あり	2冊	¥1,000	伊藤(貞)	
44	3	樋田 光	クロコノマチョウ	神奈川県産	裏面展翅比較用	6頭	¥500	栗石	
45	4		台湾産パリス	台湾産	(hermosanus)	5♂1♀	¥1,500	富永	
46	1		ギフ蝶	神奈川県(石砂産)	採集品(1975年) 展翅品	1♂	¥2,500	朝日	
47	2	雨宮 範正	アサマシジミ	新潟県(白高地産)	採集品 展翅品	1P	¥1,500	樋田	
48	3		シルビヤシジミ	山梨県(釜無川産)	飼育品4化(11月羽化)	1P	¥500	栗石	
49	16	中谷貴寿	Tシャツ		「ガラバゴスの直営店で購入。Charles Darwin Research Stationのロゴマーク入り。マークはゾウガメ。今年はダーウィン生誕200年です。」	1着	¥3,000	山田(厚)	
50	17	1	小沢英之	神戸ウオーター	(500mlミネラルウオーター)、ラベルに蝶の写真	3本	600	奈良岡他	
51	2		神戸ウオーター		(500mlミネラルウオーター)、ラベルに蝶の写真	3本	600	岩野他	
52	18	1	藤田喜彦	日本酒器セット	マレーシア産 錫製 お膳子1杯3 新品ケース付き 現地では高価	1式	¥1,000	北川	
53	2		茶入れ	マレーシア産	マレーシア産 錫製、新品ケース付き 現地では高価	1式	¥2,700	宮崎	
54	1		アサマシジミ	長野県小谷村真木	「蝶の紋」に出てくる記念的産地。1969年本人採集	1P	¥3,500	麻生	
55	2		ギフチョウ	神奈川県厚木市飯山	絶滅産地 1956年本人採集	1♂	¥11,000	樋田	
56	19	3	藤岡知夫	ウラゴマダラシジミ	熊本県山江村	南限の産地 2008年飼育羽化・小岩屋敏	1P	¥2,500	中西
57	4		オオウラギンヒョウモン	鳥根県隠岐知夫里島	絶滅産地 1987年本人採集	1♂	¥2,500	中村	
58	5		ウスバキチョウ	北海道大雪山	規制前、許可済み 1957年本人採集	1♂	¥4,000	栗石	
59	1		シナギフ	中国・せつこう省杭州市	2002年3月羽化(飼育)	1P	¥1,000	栗石	
60	2		オナガギフ	中国・陝西省・周至県・老荘子	2002年3月羽化(飼育)	1P	¥2,500	栗石	
61	20	3	宮崎茂穂	シナフト	中国広西壮族自治区大播山	1999年採集品	1♂	¥2,500	山田(厚)
62	4		ミカドウスバ	中国・青海省・野牛山	1993年採集品	1P	¥2,000	杉山	
63	5		キベリテナゴコガネ	ベトナム南部バオラック町(?)	北ベトナム産の可能性あり。2005年8月採集	1P	¥3,500	齊藤(秀)	
64	1		「中国名貴胡蝶」	中国の蝶コンパクト図鑑		1冊	¥500	伊藤(貞)	
65	21	2	山田 成明	「へなちよこカミキリロード」	初心者のためのカミキリムシ入門書	1冊	¥1,000	梅村	
66	3		「じゃま田君の蝶バカ日誌 09ボルネオ採集記」	オールカラー版 78頁		1冊	¥1,100	田中(和)	
67	1		自筆肉筆画	結婚披露宴の引出物 額つき 絵はウスバシロの食草エンゴサク		1式	¥1,000	山田(厚)	
68	22	2	寺 章夫	CITRINA通信	200号記念 ウスバシロ特集号、定価2000円	1式	¥500	白石	
69	3		報文別刷り	蝶と蝶などへのウスバシロ関連の報文4点 落札額は会へ寄付		1式	¥200	伊藤(貞)	
70	23	1	三輪 真言	ボンカップとフタ	飼育用	50個	¥200	小柴	
71	1		本 蝶蝶美鑑	世界の様々な蝶の生態写真+標本写真が載った本。誤りがたくさんあるので、それを探すのも楽しい?		1冊	¥1,000	仁平	
72	24	2	栗山 定	ハワイのイトトンボ園	ハワイで発作的に購入したが使うあてもないので処分。これはかなりまとめた図鑑なので、必要な人にとってはありがたいもののはず。	1冊	¥1,000	倉地	
73	1		jezoensis 35号 (北海道昆虫同好会誌)	2009年5月発行新本【補足説明】全184頁(定価5,000円)で、全37編の記事中蝶関係13編(寒沢他「2007-2008ヒメギフチョウ分布調査報告、山本「2008年ゴマシジミノート」対馬他「北海道におけるアサギマダラの食草と幼虫の確認について」堀「札幌で撮影されたアカボシゴマダラ」、朝日「樺蝶アップデート(2007年)」など収録)	1冊	¥2,000	麻生		
74	2		アサマシジミ	南部サハリン	新亜種ssp. naganoi (Plebejus (idas) subsolanus naganoi) パラタイプ標本1ペア Upper Riv.Vladimirovka (type locality)産; leg.J.Asahi【補足説明】今月発行のバタフライズ(フジミドリ)49号で記載したばかりの新亜種。日本産では北海道産(インダシジミ)に近いが、小型では翅脈まで青色鱗粉が乗り全体に非常に明るい青色の翅表が特徴。発見の余話1の私の記事に掲載。	1式	¥4,000	麻生	
75	25	3	朝日純一	初夏の蝶合計101頭	ロシア・東シベリア・ヤクーツク産。 2008年初夏の蝶合計101頭。タウ入り① 43頭(写真参照) Russia; Far East; Yakutia; Tomponskiy distr.;Suntar-Khayata range; East Khanduga riv.; Razvilka vil.;H-700m;15-16.06.2008 タウ入り② 58頭(写真参照) Russia; Far East; Yakutia; Oimiyakon distr.;910km east from Yakutsk City; Kuidusun riv.; Tomtor vill.; H-450m; 4-9.07.2008 【補足説明】ロシアの博物館の学芸員採集のタウ入り標本でデータは確実。標本の状態はA~A'。①=Erebia(ベニヒカゲ類) 24exs.,Oeneis 1ex., Artogetia(エゾシジ) 5exs., Aporia(エゾシロ) 1ex., Blue(カバイロ+コマシジミ) 13exs.②=Colias(ミヤマモンキ) 18exs., Synchloe(クサツキシロ) 3exs., Coenonympha(tulliaタイリクヒメヒカゲ) 10exs., Blue(カラフルリシジミ16頭他) 24exs., Mellicta(コヒョウモンモドキ類) 2exs., lossiana(angarensisミヤケヒョウモン) 1ex	1式	¥6,000	富永	
76	1		インロー型標本箱2	志賀製、特大型 40cm×30cm×6cm		1式	¥2,000	小柴	
77	26	2	間野雄次郎	インロー型標本箱2	志賀製、特大型 40cm×30cm×7cm	1式	¥2,000	仲西	
78	3		展翅版、各サイズ6	志賀製、15.4cm、10cm、8.5cm、7cm、6cm、3.9cm		1式	¥2,000	白石	
79	追加	1	田所輝夫	Pieris	中国	展翅品	1ex	¥500	大島
80	追加	2	仁平 勲	ヒョウモンモドキ	広島県	飼育、展翅	1♂	¥1,000	富永

久しぶりに復活した6月のセリ会は総売り上げ¥162,600でした。なお、藤岡氏より¥23,500、西海氏より¥1,000寺、田所氏からも数100円台の寄付をいただきました、厚く御礼申し上げます。

それに会への20パーセントを加えますと¥54,400が会計の方へ繰り入れとなっております。

次回、12月のセリ会にも多数の出品を期待するとともに皆で楽しみに待ちましょう。今から多数のご参加をお願いしておきます。

企画の皆さま、ご参加の皆さまありがとうございました。

* 2009 年度退会者

赤坂紀典 小松恵 樋田成人 中村芳樹 中原真一 大屋厚夫

* 新入会員 (宜しくお願ひいたします)

村上勝 〒165-0032 中野区鷺宮 6-25-9 T.F: 03-3825-8474

奈良岡章子 〒189-0013 東村山市栄長 3-4-32 コンフォラス久米川 604 HT: 090-1347-1150

lisyo1119@gmail.com

伊藤夏子 〒305-0046 つくば市東 2-14-5 仕黒マンション 206 T: 029-856-1720

Konatsu88@msn.com

* メアド変更

大野和美 oono-kazuipone.ne.jp 坂本洋典 hirowol@gmail.com

* 2010 年初頭の例会は 1/19 (火) です。

* ワシントン条約違反ということでアポロとルソンカラスアゲハ、ホメロスアゲハの販売で某標本商と顧客 2 名が逮捕されました。顧客までとなると対岸の火事といって簡単に見過ごすこともできなくなりました。海外採集行の帰りなども含めて皆さまも十分気をつけてつまらないことに巻き込まれないよう注意いたしましょう。

* 新聞紙上より

カブトムシやクワガタをできるだけ長く飼いたいなら、冬の間の飼いや冬の越し方に注意することが大切です。

カブトムシの全生活史は通常、夏から次の夏まで1年で、うち成虫の寿命は1か月ほどです。メスの成虫は夏の終わりから秋には卵を産んで死んでしまいます。交尾しない場合はオスもメスも少し長生きします。私は交尾していない成虫を、冬まで4か月間生かしたことがあります。20度前後の暖かい環境を維持するといいでしょ。ただ、長生きさせるか、子孫繁栄のため交尾をさせるかは飼育主の考え次第です。

カブトムシ・クワガタの飼育 ■ 4

09.7.24 祝日(月)

寿命を決める冬の環境

第です。クワガタのうち、ノコギリクワガタやミヤマクワガタなどは成虫として活動した年に寿命を終えます。コクワガタ、オオクワガタなどは幼虫のほかに成虫でも冬を越し、数年生きる例があります。

冬の間はおがくずの中で穴を作ってじっと過ごします。おがくずが乾きすぎないように、湿り気を保ちましょう。容器をおいた部屋の温度が15、16度以下なら、冬眠する場合がありますが、暖かい部屋だと、冬眠しないこともあります。

毎日観察して、餌の減り具合を点検し、減っているなら、冬眠していないので、餌を補充して下さい。ただし、冬眠するほうが長生きします。

(高家博成・東洋大非常勤講師)

教
えて!

交尾終えたら即脱走

昆虫の中で最も強い捕食者と言えは、まっさきにカマキリを思い浮かべる人が多いのではないだろうか。昔、カマキリがアブラゼミを捕らえた瞬間を見た事がある。いきなり、ジジジとすさまじい鳴き声をした方を見ると、カマキリが自分より大きなゼミを強靱な斧で挟んで勝ち誇ったように眼だけ動かしている。じっと観察していると、翅のつけねあたりの筋肉からゆっくりとごちそうを平らげていき、小一時間程であらかた食べ尽くしてしまった。後には翅だけが残っていた。

オスの流儀



池田清彦

カマキリは共食いもする。カマキリのメスはオスよりもはるか大きくなり、交尾を望むオスに対し、交尾の快楽と引き替えに食べてしまうとされている。実際、ケージの中で交尾をさせると、オスはかなりの確率で食べられてしまう。メスに頭部を食べられながらも、激しく交尾するオスの話を、名状し難い思いで聞いた人もいるのではないか。

しかし、野外では大半のオスは食われないで逃げるといふ。カマキリのオスだって、逃げ延びられるならば逃げたいのだ。逃げて別のメスと再び交尾すれば、自分の子供を残せる確率は増える。もっとも私だったら、一度食われそうになったら、二度と交尾をしないとは思わないけどね。
(生物学者)



玉虫(静岡県藤枝市)

玉虫を拾ひ夕日の宇陀にをり

大筆あきり

四季

長谷川 權

宇陀は大和と伊勢をつなぐ土地。万葉人が歌に詠み、狩場となり、戦乱となれば、人馬が赤土の埃をあげて通っていったところ。作者は今、夕日を浴びながら遠い足音に耳を澄ましているのだろう。時のかけらのような玉虫の亡骸を手に。

2009. 7. 8